

# 医療計画作成支援データブックについて



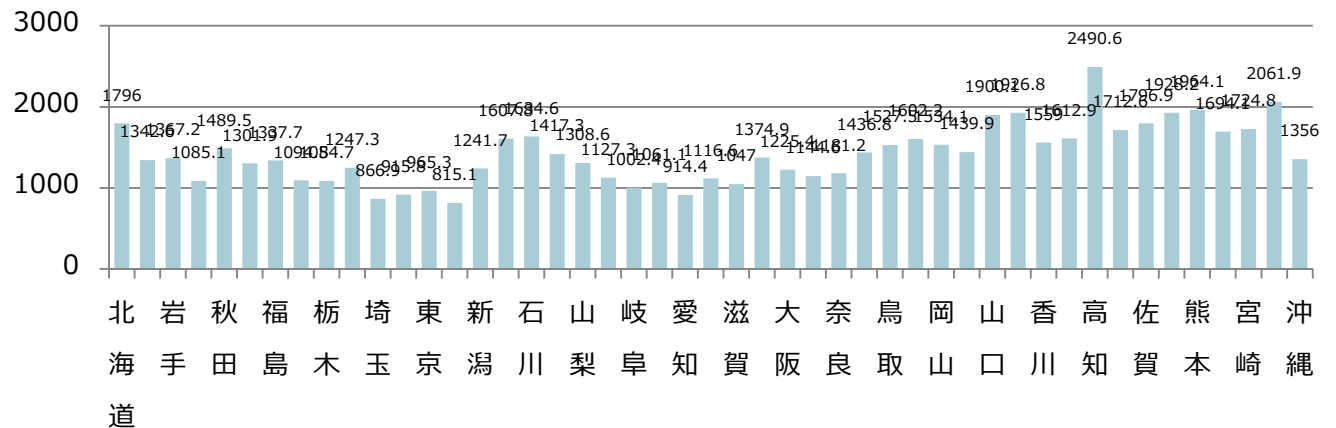
# 医療計画作成支援データブックについて

- 都道府県は、医療計画の策定に当たり、医療、公衆衛生、薬事、社会福祉、社会経済条件に関する様々な統計資料を分析し、医療提供体制の課題を把握し、数値目標の設定及びその達成のための施策立案につなげることが求められている。
- また、各医療機能を担う医療機関等の記載に当たっては、各医療機関の有する医療機能を把握することも求められる。
- こうした分析のためには、各種統計を組み合わせた資料の作成、グラフ化等、分析しやすい形への加工が必要となる。
- 都道府県のこうした作業負担を軽減し、現状分析に基づくより実効性のある医療計画の策定及びより効率的な施策の進捗評価に資するため、国が医療計画策定に当たって必要と考えられる指標を二次医療圏単位等で集計・加工し、データブックとして都道府県に提供する。

- I 全体の現状把握のための指標
- II 5疾病5事業及び在宅医療に係る指標
- 1 がんの医療提供体制構築に係る現状把握のための指標

.....

○ 都道府県単位の分析



○ 二次医療圏単位の分析

.....

## 医療計画の策定に活用可能なデータブックのイメージ

■ 都道府県が医療計画を作成するに当たって必要な基礎情報（人口、受療動向、医療機関の状況等）、厚生労働省で示した指標等に係るデータを、すぐに医療計画の進捗状況の評価につながるよう、

① 都道府県ごと、二次医療ごと、市区町村別の集計

② 前回値との比較

③ 上記のグラフ化

④ 地理情報と突合した分析

などを行った上で収載する。

※ 第6次医療計画においては、5疾病5事業及び在宅医療ごとの医療機能を評価する指標を国から示しているが、これに関わらず、交通情報、人口、医療機関・医療従事者の状況等の医療計画に必要と考えられるデータを収載する。

■ 都道府県が将来の医療需要を見据えた医療計画の見直しを行うことができるよう、将来推計等に係るデータも含める。

■ 更に、個々の医療機関の医療機能を分析する上で有用と考えられるデータなどについて、収載を検討する。

■ これらの、すぐに活用可能な形態でのデータに加え、都道府県が独自にレセプトデータ等による分析を行うことを容易にするための評価支援ソフトも開発・収載する。

※ まずは、冊子又は電子ブック等の形式で配布し、将来的には、サーバにアクセスしてデータを入手できる形態に移行することを検討する。これにより、統計データの随時更新に対応でき、都道府県が手軽に最新の情報にアクセスし、進捗評価を行うことが可能となる。

## 第6次医療計画の策定に当たって配布しているデータ

- ・ 5疾病5事業及び在宅医療の指標について、患者調査、医療施設調査、診療報酬の施設基準の届出調査、ナショナル・データベースの集計結果
- ・ 二次医療圏別患者の流入・流出状況
- ・ 都道府県別の診療報酬項目算定状況（特定の診療行為に関するレセプトの出現率）

## 医療計画の策定に当たって一般的に必要なと考えられるデータ

- ・ 地理的条件      ・ 交通事情
- ・ 人口構造の現状と将来推計（国勢調査、人口動態調査、人口の将来推計）
- ・ 疾病の罹患、死亡の状況（患者調査、人口動態調査）
- ・ 受療状況（入院・外来・在宅患者数、平均在院日数、受診間隔等）（患者調査）
- ・ 医療提供体制（医療従事者数、医療施設数、診療機能）（医療施設調査、レセプトデータ等）

## 更なる分析を各都道府県で行う際に活用可能なデータ

- ・ 都道府県における更なる分析に活用可能と考えられるレセプトデータやDPC導入の影響評価に関する調査結果などについては、簡便に分析できるよう、データ分析ツールの開発を検討する。

# データブック作成作業のイメージ

